

香川いのちのリレー財団だより



香川県高松市番町 4-1-10 (香川県医務国保課内)
tel 087-832-3315 fax 087-806-0248
ホームページ <http://www.inochi-relay.jp/>
発行者：公益財団法人香川いのちのリレー財団



10月は臓器移植普及推進月間です。

 臓器提供の
意思表示を



運転免許証の意思表示欄(例)



その他に、健康保険証・マイナンバーカード・インターネット登録サイトにて意思表示ができます。

ごあいさつ

公益財団法人香川いのちのリレー財団 理事長 安藤 照文

臓器移植の推進につきまして、日頃から、当財団の事業活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成9年に臓器移植法が施行されて20年以上が経過し、この法律に基づいた臓器の提供は、昨年1年間に全国では脳死下で68名、心停止下で29名、あわせて97名の方からあり、臓器の移植は358件行われました。香川県では臓器提供が1名の方からあり、臓器の移植は2件行われました。

一方、移植を希望して待機しておられる登録者は、30年度末現在、腎臓だけでも全国で約12,000名、香川県では148名となっており、多くの方の希望がかなえられない状況が続いています。

このような中、当財団では県や日本臓器移植ネットワークと連携し、臓器移植に関する正しい知識の普及啓発、臓器提供意思表示の促進及び院内体制の整備、移植希望登録者の検査費用の助成などに取り組んでおります。

令和元年度は前年度に引き続き、臓器提供の医療者向け教育プログラムによる実践的な研修などを通して院内体制の整備を重点的に進めるとともに、学校等での講演や10月の臓器移植普及推進月間を中心とした広報など、更に積極的な普及啓発活動を行ってまいります。

今後とも、医療機関や関係団体のご協力はもとより、県民の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



香川県から院内コーディネーターを委嘱されました

令和元年度 院内コーディネーター委嘱状交付式（令和元年6月26日）



大西 千帆
(香川県立中央病院)



切詰 和孝
(香川大学医学部附属病院)



森脇 小百合
(キナシ大林病院)



林田 有史
(坂州市立病院)



明崎 祐子
(四国こどもとおとなの医療センター)



山田 真梨子
(高松赤十字病院)

院内コーディネーターとして、移植医療に貢献できるように普及啓発活動を行いたいと思っています。

(敬称略)

院内移植コーディネーターを拝命して



坂出市立病院 泌尿器科 部長 林田 有 史

坂出市立病院は、中讃地区の急性期医療の中核病院であるとともに、在宅医療、へき地医療も提供する公立病院です。

私は2019年4月より泌尿器科部長として坂出市立病院に赴任し、今回院内移植コーディネーターを拝命することとなりました。

2年前まで、香川大学医学部附属病院にて約5年間院内コーディネーターを委嘱されていましたが、その時はどちらかという臓器を提供する側ではなく、腎臓を移植する立場で活動しておりましたので、今回改めて臓器を提供する側として院内コーディネーターとして任命され身の引きしまる思いです。

近年、移植医療の技術はほぼ確立されてきておりますが、脳死下もしくは心停止下の臓器移植は、関係者に大きな心理的、肉体的負担があるのが実情です。現在の移植医療は、現場の移植に携わる人々の情熱やボランティア精神でなんとか支えられている部分が大いと感じております。私が移植医として活動していたころの話ですが、心停止下で腎臓提供の情報が入ると自分の外来を他の医師に代わってもらい、腎臓が提供される病院で待機することになります。関係者みなで雑魚寝をして待機先の病院で数日すごしたこともありました。2010年に改正臓器移植法が施行され脳死下臓器提供が増えたことでこのようなことも減りましたが、脳死下の臓器摘出は深夜に行われることが多く、深夜に他施設で腎臓を摘出し、自施設に戻ってすぐに移植を行ったこともありました。しかし一方移植医療によって、いのちがリレーされた方にとって、臓器移植は大きな福音であることもまぎれのない事実です。

今以上に移植医療を普及させることを目指す場合、個人のがんばりだけでは限界があるのではないのでしょうか。今回私は臓器提供をする側として院内コーディネーターを委嘱されました。臓器提供をする側、特に臓器提供候補者の主治医は病気を治したい思い、患者家族に配慮する気持ちから、なかなか臓器提供の情報提供ができないケースがあるのではないかと思います。院内コーディネーターとして主治医の負担を減らし、通常の医療の一環としてスムーズに臓器提供の情報提供が行えるようするにはどうしたらよいか考え行動していきたいと思っております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

院内移植コーディネーターとしての思い



香川県立中央病院 救命救急センター看護師 **大西千帆**

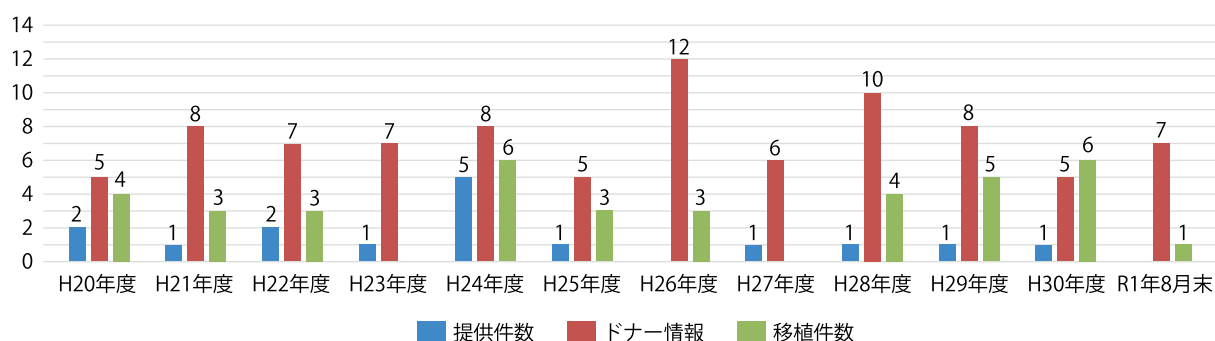
香川県立中央病院は高度急性期病院及び地域医療支援病院としての香川県の中核病院としての役割を担っています。また脳死下臓器提供可能施設に認定されており、定期的な研修会の開催や臓器提供シミュレーションを行っています。

この度、令和元年4月より院内移植コーディネーターを受嘱いたしました。4月の臓器移植ワーキンググループ会議では臓器提供を受けたレシピエントからの貴重なお話を聞くことができました。レシピエント自身も移植を待つということに葛藤があったこと、移植を受けてから夢だったことが叶い、移植は元気な身体だけでなく、夢と希望を与えてくれたという言葉が深く印象に残っています。臓器移植でしか救えない命があり、臓器移植はいのちのリレーと言われてはいますがこの時改めて実感しました。また会議では、今後の課題として臓器提供の意思表示が少ない状況や情報提供をチームで行う大切さが述べられていました。

私が勤務している救命救急センターでは重症及び複数の診療科の救急患者が入院してきます。救命処置を行う中で救命困難と判断された場合に遭遇することは多々あります。当院では入院となった際には患者の健康保険証の臓器提供意思表示欄の確認を行っています。臓器提供の意思表示をしている人は極少数であるのが現状です。2010年改正臓器移植法が施行となり、本人の意思が不明な場合や15歳未満の方から家族の承諾があれば脳死後の臓器提供が可能となりました。臓器提供の話ができるような場合は突発的な要因で患者は極めて重症で意識がない状態、そして家族は突然の発症に混乱している状態です。患者家族への臓器提供の確認の際には、意向や葛藤を傾聴し心理的負担を軽減しながら納得のいく選択ができるように気持ちに寄り添うことが大切であると思います。臓器提供を円滑に進めるにあたっては、救命困難な患者や終末期患者の臓器提供が可能かどうか、また意思表示カード所持の確認を院内移植コーディネーター間で早期から情報共有し把握しておくことが重要であり、コミュニケーションを図りながらチーム全体で関わっていきたいと考えます。臓器提供の可能性のある症例への適切な対応が可能となるように積極的に研修会に参加し、病棟内の体制づくりに努めたいと思います。

私は院内コーディネーターとしてまだまだ未熟ですが、チームの一員として移植医療に携わり学んだことを活かせるように、日々取り組んでいこうと考えています。

香川県における状況(提供および移植数、ドナー情報数) [H20年4月～R1年8月末現在] (臓器同時移植は2臓器)



香川県内の移植施設

病院名	担当科	医師	電話番号	診察日等注意事項
香川大学医学部附属病院 〒761-0793 木田郡三木町大字池戸1750-1	泌尿器・ 副腎・ 腎移植外科	杉元 幹史 上田 修史 田岡 利宜也 田島 基史	087-898-5111	火：午前 木：午後（新患対応） 金：午前 ※透析施設から地域連携室経由で診察予約が可能です。 地域連携室（Tel:087-891-2417）
	消化器外科	鈴木 康之 岡野 圭一 大島 稔 須藤 広誠 安藤 恭久	087-898-5111	膵臓移植 火：午前 木：午前 ※地域連携室経由で診察予約が可能です 地域連携室（Tel:087-891-2417）
医療法人財団博仁会 キナシ大林病院 〒761-8024 高松市鬼無町藤井435-1	泌尿器科	佐倉 雄馬	087-881-3631	月～土曜日（午前） ※2020年4月から移植手術当面中止
高松赤十字病院 〒760-0017 高松市番町4-1-3	腎不全外科	山中 正人	087-831-7101	月：13:00～15:00 火：14:00～15:00 木：13:00～15:00

出前講座（講師派遣）のご案内

当財団では、臓器移植をテーマに、職場の研修会や地域の会合、学生さんへの講演などに、講師を派遣しています。（無料）

お気軽にご相談ください。

お待ちしております！！



～こころ温まるご支援ありがとうございます～

平成30年度は法人会員28法人、個人会員14名の皆様にご支援をいただきました。

平成30年度 賛助会員名簿 (敬称略・五十音順)

〔法人会員〕

淡河医院
JA 香川県厚生連 屋島総合病院
一般社団法人 香川県医師会
一般社団法人 香川県腎臓病協議会
医療法人 一真会 川人外科内科
医療法人 讃楡会 みとよ内科にれクリニック
医療法人財団 博仁会 キナシ大林病院
医療法人社団 清仁会 宇多津病院
医療法人社団 健愛会 あきやまクリニック
医療法人社団 ザイタックスクリニック
医療法人社団 讃志会 花の宮クリニック・さくらの馬場クリニック
医療法人社団 新進会 おさか脳神経外科病院
医療法人社団 宅光会 リウマチ・腎臓内科はちまんクリニック
医療法人社団 博仁会 キナシ大林病院
医療法人社団 ひかり会 河内病院
医療法人社団 豊南会 香川井下病院
医療法人社団 山本ヒフ泌尿器科医院
医療法人社団 湯浅クリニック
香川銀行 総務部
香川大学医学部附属病院
笠岡 腎・透析・泌尿器科クリニック
株式会社総合開発
公益財団法人 香川県児童・青少年健全育成事業団(さぬきこどもの国事業所)
公益社団法人 香川県看護協会
社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院
高松赤十字病院
三豊総合病院企業団
㈱百十四銀行 県庁支店

〔個人会員〕

青江 基
秋山 祐一
今滝 京子
大北 真哉
大西 聡
大畑 年
小川 和彦
香川 昌弘
中原 薫
南原 義秋
西村 周子
松本 祐蔵
六車 文秀 ほか



ほか

賛助会員ご加入のお願い・ご案内

当財団では、臓器移植の普及推進を目的として、これまでに香川県版臓器提供意思表示カードの作成・配布や、臓器移植に関する出前講座等の啓発活動、医療関係者の研修活動等、さまざまな活動を行ってまいりました。今後、さらなる普及推進を図るためには、知識の普及啓発等について一層の取組みを行うことが重要ですが、これらの活動は、当財団だけでできるものではなく、臓器移植に対するご関心及び移植医療の必要性へのご理解に支えられてこそその活動です。

今後さらに、臓器移植を待ち望む方々のために充実した活動を続けていく所存ですので、皆様のご協力をお願いします。

【賛助会員】

- 個人会員 年会費 1口 3,000円
- 法人会員 年会費 1口 10,000円

【振込先】

- 百十四銀行 県庁支店 普通 0930735
 - 香川銀行 県庁支店 普通 1011246
- (上記2行口座名義：公益財団法人香川いのちのリレー財団 理事長 安藤 照文)

●郵便振替

- (所定の振込用紙がありますので、ご連絡ください)

平成30年度 事業報告

1 腎臓移植に関する支援及び助成

- (1) 腎臓移植希望者の登録時の組織適合性検査料の助成として、14名に一人当たり助成金20,000円を交付した。
- (2) 臓器提供者の遺族を訪問して供花を贈呈した。(2件)

2 第4回香川県臓器移植連絡協議会

学識経験者、関係病院長等で構成する協議会を設置し、地域支援事業の実施について協議した。

3 臓器移植に関する関係機関との連絡調整

- (1) 香川県臓器移植ワーキンググループ会議開催
院内の臓器移植体制の整備を図るため、各医療機関での問題点等について検討を行う香川県臓器移植ワーキンググループ会議を3回開催し、問題点の共有や、医療機関相互の連携を進めた。うち1回は「臓器提供ワークショップ in KAGAWA」を兼ねて実施した。
- (2) 香川県臓器移植ケーススタディの開催
- (3) 協力施設の体制整備
医療機関が実施する脳死下臓器提供シミュレーション・院内勉強会の開催、院内マニュアルの作成等に対し、積極的な支援を行い、院内体制の整備を進めた。また、グリーンカラーのカレンダーにドナー情報用全国共通連絡先等を記載し作成、関係医療機関へ配布した。
- (4) 患者個票調査
17枚の患者個票を収集し、臓器移植ワーキンググループ会議でデータの事例検討を行った。
- (5) 日本臓器移植ネットワーク主催の研修会等への参加等

4 臓器移植等についての普及啓発

- (1) 香川県臓器移植コーディネーターによる出前授業・講演等の実施
香川県警察学校や高校・看護学校等において出前授業や、関係団体の会議や香川県立病院の新人研修等において講演を行い、臓器移植に関する知識の普及啓発に努めた。
- (2) 臓器移植普及推進イベント、キャンペーンの実施
臓器移植普及推進月間(10月)を中心に、イベントやキャンペーンを実施するなど、臓器移植に関する知識の普及啓発に努めた。
高松シンボルタワーグリーンライトアップ、デジタルサイネージ(高松市南新町商店街入り口)での啓発広告の掲載・さかいで塩まつりへの協賛参加・香川県運転免許センターにおける普及啓発、東かがわライオンズクラブ主催 意思表示カード配布運動(県内3か所)、香川県腎臓病協議会主催臓器移植推進キャンペーン(県内4か所)、若い世代の健康フェスタ・香川県慢性腎臓病対策協議会主催世界腎臓 DAY in かがわ(イオン綾川)
- (3) 臓器提供意思表示カード付きのリーフレット等の配布
出前授業・講演・イベント・キャンペーンのほか、県内の成人式、香川県臓器移植ワーキンググループ会議参加施設、香川県運転免許センター、県立病院新規採用看護師、コンビニ等に、臓器提供意思表示カード付きリーフレットや、小冊子「いのちの贈りもの」等の普及啓発物品を配布した。
- (4) 広報活動
美容室の待合室にシントランスプラント合併号を設置したほか、県庁舎内テレビ及東館ロビー・高松シンボルタワー内ビジョンで普及啓発映像集の上映、ことでんバス・大川バスの車体にグリーンリボンステッカーを貼付、県政ラジオや県政テレビ「サン讀かがわ+」に出演するなど幅広く広報啓発を行った。

5 その他

- (1) 平成30年6月、県政モニター316名(県内在住15～70歳代)に対し、「臓器移植に関するアンケート調査」を実施した。
- (2) 財団だより 第13号 300部発行

令和元年度 事業計画

1 腎臓移植に関する支援及び助成

- (1) 組織適合性検査費用の助成(1人20,000円)
- (2) 臓器提供者のご遺族への供花等の贈呈

2 臓器移植に関する関係機関との連絡調整

- (1) 院内体制整備
各医療機関内で、提供事例発生の際に院内コーディネーターが関係部署と円滑に連携が図れるよう、院内マニュアルの作成や改訂、シミュレーション・研修会の開催を支援し、より多くの医療関係者が臓器提供の意思確認を行い、ドナーや家族の意思が尊重されるよう支援する。
- (2) 臓器移植ワーキンググループ会議の開催(年3回) 各医療機関での問題点等の共有及び連携を図る。
- (3) 臓器提供ワークショップ in KAGAWA の開催
- (4) 香川県臓器移植ケーススタディの開催
- (5) 患者個票調査
各施設からドナーとなりうる患者の医学的データの収集を行い、今後の症例発生時に適切な対応ができるよう、臓器移植ワーキンググループで事例検討を行う。

3 臓器移植に関する知識の普及啓発

- (1) 臓器移植普及推進月間等における普及啓発
臓器移植普及推進月間(10月)において、主要施設のグリーンライトアップを中心に、広報誌やラジオ番組等による広報、電子看板でのCM放送、臓器提供意思表示説明用リーフレット、ポスター等の配布を行う。また集客数の多い地域のイベント等において、リーフレット等の配布等、幅広い年齢層への普及啓発を行う。
- (2) 臓器移植コーディネーターによる説明会等の実施
県民を対象に、移植コーディネーターによる説明会等を実施する。
- (3) 香川県運転免許センター等での普及啓発
臓器移植に対する関心を持って頂けるよう、ポスター、パンフレット、意思表示説明用リーフレット等の掲出、設置を継続して行い、意思表示欄の記入促進に努める。
- (4) 財団の機関誌の作成等 財団の機関誌の作成、賛助会員への配布、ホームページでの掲載を行う。



さまざまな普及啓発活動を実施しています

① 10月は臓器移植普及推進月間です。

『高松シンボルタワー グリーンライトアップ』実施

ご家族やあなたの大切な方と、いのちのことや臓器移植について話すきっかけになることを願って、高松シンボルタワー棟を、移植医療のシンボルである「グリーンリボン」にちなんで、グリーンにライトアップします。

点灯日時／R1.10.1（火）～10.31（木）18時から22時まで
点灯場所／高松市サンポート 2-1



② じんけんフェスタ2019への参加(予定)

内容

- メインステージでの普及啓発PRタイム
シンガーソングライターかんのめぐみさんのステージ
 - 市民ギャラリーでの普及啓発活動
・親子ワークショップの開催
【クレイクラフトでクリスマスツピアリーを作ろう♪】
・リーフレット、意思表示カード等の配布
- 日時／令和元年11月30日(土) 10:00～16:00
場所／高松シンボルタワー1F(メインステージ)
サンポートホール高松(ワークショップ)



ぜひ、ご家族やご友人の皆様とご参加ください!!

③ 香川県運転免許センターにおける普及啓発イベント

運転免許センターの利用が増える時期に合わせて、移植医療に関する正しい知識の啓発と、臓器提供意思表示の推進を目的として普及啓発イベントを開催。

運転免許証の裏側に臓器提供の意思表示ができることを周知するとともに家族や大切な人と話し合っしてほしいと呼びかけました。

日時／平成31年3月8日(金) 8:30～12:00
場所／香川県運転免許センター(高松市)



香川県臓器移植ワーキンググループ会議等 活動報告

臓器移植医療に関する諸課題について、情報交換や研究・協議を行い、県内の臓器移植医療体制の強化を図り、適切な臓器移植医療を推進するため、「香川県臓器移植ワーキンググループ」を設置しています。

平成30年度6月・9月・2月の3回開催。9月のワーキンググループ会議は『臓器提供ワークショップ in KAGAWA～終末期患者に我々が出来ること～』をあわせて開催しました。このワークショップでは、昨年度に引き続き、TPM(Transplant Procurement Management)モデルというスペインの臓器移植システムを日本向けにアレンジして、先進的に取り組んでいるTPMチームのメンバーを講師に迎え、講義のほかにデモンストレーションやグループワークを行うなど、実践的なプログラムを導入しています。

臓器提供ワークショップ in KAGAWA(平成30年9月22日開催)



臓器移植に関するお問い合わせをお受けします。



公益財団法人 香川いのちのリレー財団
☎ 087-832-3315 平日8:30～17:15



公益財団法人 日本臓器移植ネットワーク
☎ 0120-78-1069 平日9:00～17:30

臓器提供意思登録

モバイルサイト
からも意思登録
できます。



登録はこちらから

